

**2018年7月13日(金) ～****2018年8月2日(木) の活動****○ 政府要望活動**

7月25日(水)～26日(木) 東京都

政府・与党、国土交通省、経済産業省等の関係省庁や北陸三県選出国会議員など合わせて約 280 名に対し、2 日間にわたって要望活動を実施した。

与党では自民党二階幹事長と竹下総務会長、公明党井上幹事長と面談。要望書に基づき、北陸新幹線金沢－敦賀間の 2022 年度末までの確実な開業と敦賀－大阪間の 2030 年頃までの 1 日も早い全線整備のほか、原子力発電所の早期再稼働などについて要望を行った。

また、女性部会としての提言を今回初めて盛り込み、ひとり親家庭の北陸移住推進、貧困児童支援や児童虐待問題への適切な対応、セクハラ・パワハラ根絶などについて訴えた。

今回の要望活動には、久和会長のほか、浅野邦子女性部会長（㈱箔一取締役会長）、森田弘美女性部会副会長（㈱グループフィリア代表取締役社長）、向智里金沢大学副学長らが参加した。（担当：鳥山）

**○ 石川県新幹線大会**

7月29日(日) 金沢市

石川県地場産業振興センターにおいて、石川県選出国会議員をはじめ、関西経済連合会 藤原リニア・北陸新幹線専門委員長、北経連菱沼副会長など約 1,000 名が出席して開催された。

岡田参議院議員からの情勢報告は次のとおり。

- ・資材価格の高騰等により金沢－敦賀間の建設費が 2,260 億円増える見込み（総額 1 兆 4 千億円超の水準）
- ・2022 年度末までの敦賀開業のため、国の負担額（755 億円）の増額が必要。与党 P T にも働きかけ、年末の予算要求時の増額を求めている。
- ・（国費以外の）地方負担軽減、敦賀以西の財源確保のためにも、JR からの貸付料増額や算定期間の延長が必要。 など

菱沼副会長は挨拶の中で「詳細調査・環境アセスメントを迅速に実施し、2022 年度の事業認可・着工、2030 年頃までの一日も早い大阪全線開業の実現を求めると述べた。

関経連の藤原委員長は「なにわ筋線開業予定年（2030 年）までの北陸新幹線の大阪延伸が必要であり、北陸新幹線は“関西新幹線”との気概を持って取り組む」と述べた。（担当：鳥山）

**○ 第 5 回北陸産学連携懇談会・福井大学見学会**

8月1日(水) 福井市

会員大学との連携の一環として毎年実施している北陸産学連携懇談会を福井大学アカデミーホールにて開催した。

懇談会には福井大学 眞弓学長をはじめ 10 大学の学長等と、久和会長をはじめ当会役員 9 名が参加した。まず事務局より、昨年の懇談会以降行われた産学連携交流会「外国人留学生就職・採用シンポジウム」（3 月）と政府要望活動（7 月）について報告。その後、「産学連携によるイノベーションの推進について」をテーマに自由懇談を行った。懇談では、自組織での取り組みや先方に対する要望、期待など、参加者全員が様々な観点から活発に意見を述べた。今後も産学の交流をより深めていくこととした。

また、午後からは大学見学会を福井大学文京キャンパス内にて開催した。見学会には、総合対策委員会、先端技術推進委員会のメンバーも加わり、約 50 名が参加した。アカデミーホール集会室にて、眞弓学長による大学の概要説明に引き続き、国際地域学部、高エネルギー医学研究センター、「雪氷災害対策に関する研究」、遠赤外領域開発研究センター、「アンダーラフ型共働」について各責任者から研究内容の紹介があり、その場で質疑応答した。

その後、遠赤外領域開発研究センター、産官学連携本部（ふくい産学官共同研究拠点）を見学した。

（担当：木戸）

**会員からのお知らせ****○ ビジネスセミナー**

9月7日(金) 富山市

北陸銀行様から「インバウンドと越境 EC で中国人に売れる方法」と題したセミナーの案内がありました。近年急速に市場が拡大しているインバウンドと越境 EC 関連の講演です。是非ご参加ください。

【日時】2018 年 9 月 7 日（金）15:00～16:45

【会場】富山国際会議場大手町フォーラム  
2 階 特別会議室

住所：富山市大手町 1-2 TEL076-424-5931

【講師】㈱中国市場戦略研究所 代表 徐 向東 氏  
※参加費は無料です。

詳細・お申込みは別紙をご覧ください。

【お問い合わせ先】

北陸銀行国際部中国室 TEL 076-423-7111  
担当：酒井・大間知・山瀬